

図書館と利用者をつなぐ虹の架け橋

～図書館情報誌パララ～

P(People)a(and)r(rainbow)a(and)l(library)a(and)

冬号 2024.12 - 2025.1
VOL.151

大野城まどかぴあ図書館

Parala

全力で冬を楽しむ

寒くて出かけるのも億劫になってしまう季節。今年は冬だからこそ楽しめることをしてみませんか？

『雪の手紙』

片平 孝／著

青菁社

【 451.6 カ 】

キンと冷え込んだ朝、水たまりに広がる薄い氷の名前は「結氷^{けっぴょう}」。蟬の羽に似ていることから「蟬氷^{せみごおり}」とも呼ばれるそうです。「霜」は地表付近の水蒸気が 0℃以下に冷えた物体に触れて凍りついたもの。これは家の窓ガラスでも見られる現象です。

本書ではこのような氷の張り方や雪の積もり方が写真と文章で紹介されています。雪の結晶、積もる雪、氷の造形の美しい写真から冬らしさを感じてみませんか？

『旬のやさい歳時記』

矢嶋 文子／著

主婦と生活社

【 626 ヤ 】

季節を2週間単位で表した二十四節気に沿って、旬の野菜とその選び方が紹介されています。冬至に旬を迎えるのは、冷たい風に吹かれ甘さをため込んだ長ねぎ。また、この時期のかぼちゃは収穫した夏から低温貯蔵され完熟したもの。甘さが増し、食べ頃だそうです。

この冬は食卓に旬を取り入れ、今だからこそ味わいを楽しみましょう！

『温泉はなぜ体にいいのか』

松田 忠徳／著

平凡社

【 492.5 マ 】

冬になると入りたくなる温泉。入ると疲れが取れると感じる方も多いのでは？本書では独自の調査から分かった温泉の健康効果を解説しています。そのほか、温泉にまつわる事柄を歴史的、文化的な視点から紹介。徳川の歴代将軍は温泉好きで、なんと箱根から温泉を樽で運ばせたそう。

温泉のことをさまざまな角度から知ることができる1冊です。

『サンタ・エクスプレス』

重松 清／著

文藝春秋

【 F シゲ 】

出産のため離れて暮らすママに会いに行くなっちゃん。帰りの新幹線の中だけは、いろいろな気持ちが入り混じり泣きたい気持ちになってしまう。そんななっちゃんへママからのサプライズプレゼントが…(表題:サンタ・エクスプレス)

冬を舞台にした、心が温かくなる12の短編集。焼き芋から立ち上がる湯気、星のきれいな真冬の夜空…作中の場面が冬の今だからこそリアルに感じられます。

こんなことしています！

図書館員の しごと

図書館の仕事と言えば、貸出や返却などが一番に思い浮かぶのではないのでしょうか。実はそれ以外にも皆さんの見えない所で様々なことをしています。今回は簡単に、日頃どのようなことをしているのかをご紹介します！

カウンター業務



本や CD の貸出・返却はもちろん、初めてご利用の方へカードの作成(利用者登録)や利用の説明を行っています。また、本の検索や場所の案内など、調べもののお手伝い(レファレンス・サービス)もしています。



この他にも、移動図書館車わくわく号の運行や他の図書館との本の貸借なども同時に行っています。



棚の管理



返却された本を棚に戻し、請求記号順(背ラベルの番号順)に並べ、背表紙を揃えます。



蔵書点検

特別整理期間中、図書館のすべての本のバーコードを職員が1冊ずつ読み込み、本の所在を確認します。所在が間違っている本を元の場所に戻したり、行方不明になっている本を探したり、集中力と体力のいる業務です。

資料管理



【購入】
新刊やリクエストの中から各担当が判断し、発注します。

【装備】
バーコード、請求記号ラベル、セキュリティ用のテープを貼付、汚破損からの保護のために表紙を専用のテープで覆い、データの作成をします。



【修理】
ページ外れや破れなどを、専用の道具を使って修理します。

イベント



毎年主に子どもを対象に、4月は「図書館子どもまつり」、10月は「図書館へよう!!」といったイベントを企画・開催しています。



おはなし会



図書館ボランティア「おひざでだっこ」「おはなしの会わくわく」の協力のもと、火曜日と土曜日に開催しています。詳しくは図書館ホームページやチラシ等をご確認ください。

この他にも…図書館外に設置している図書除菌機や市内のコミュニティセンターに置かれた返却ポストの整備、発行している広報誌の作成や館内展示、特集の企画等様々な仕事をしています。

司書の つぶやき



年末年始の楽しみは色々ありますが、私の楽しみは食。我が家では大みそかの定番は魚介系の鍋、元日はおせちやお雑煮、お刺身を楽しみます。中でも私の好きなメニューは母の作る「がめ煮」。おせちやお雑煮と並んでお正月の味です。(F)



児童コーナー



☆2の棚に人気キャラの本大集合！



☆2には、こんな本が置いてあります！

- ・サバイバルシリーズ
- ・ちびまるこちゃん
- ・ほねほねザウルス
- ・徳間アニメ絵本シリーズ
- ・しずくちゃん
- ・ドラえもん
- ・名探偵コナン

レシートに ☆2と表示されたら、この棚を探してください！

==資料の内容(書誌番号:58018)==
 書名 しずくちゃん
 著者名 ちいさなしずくのようせいたち。
 出版者 ぎぼ りつこノ作・絵
 出版年 岩崎書店
 200305
 ページ数 53p
 大きさ 21cm
 ISBN 4-265-80117-X

==配架情報==
 配架場所 本籍:図書館
 開架
 現在:図書館
 開架
 N/726/4/☆2
 最終返却日 2024/10/29
 備考 貸出できます
 030672430

☆1の棚もあります！(ウルトラマン・おしりたんてい・ポケットモンスターなど...)

大人のための 絵本

大人が読むからこそ味わえる
絵本の持つ繊細な世界を
お楽しみください。

「ぼくのたび」
みやこし あきこノ作
ブロンズ新社
【Eホ】

ホテルに勤める主人公はいつもお客様を見送る側ですが、いつかはおおきなかばんをもってここではないどこかへ行きたいと夢見ています。「旅」のすばらしさが美しいリトグラフで表現されており、淡いモノトーンの色調が旅に出る前の不安と期待の入り混じった気持ちを表現しているようで、旅への思いを掻き立てられる絵本です。

「ねこのオーランドー農場をかう」
キャスリーン・ヘイルノ作・画
脇 明子ノ訳
童話館出版
【OEネ】

オーランドーの一家は荒れ果てた農場を買い取り再建することに。オーランドーは農場主としてリーダーシップを発揮し動物たちのやる気を引き出し、みんなが生き生きと働けるようにしました。ユーモラスな展開の中で農場が見事に生き返る様子が鮮やかに描かれています。賢く優雅なオーランドーのマネージメント(?)の手腕をぜひご覧ください！

図書館カレンダー

■ 休館日



としょかんのおはなし会

※詳しくはHP・館内チラシをご確認ください

12月 December

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月 January

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

おひざでだっこ 毎週火曜日

10:30~10:45

◇ ぴよぴよのへや(0歳児向け)

◇ よちよちのへや(1・2歳児向け)

● わくわくおはなし会 毎週土曜日

①10:30~11:00 ②11:15~11:45

幼児~小学生向け

★ スペシャルおはなし会

12/21(土) クリスマス

1/21(火) 赤ちゃんとのえほんであそぼう

1/25(土) わくわくおはなしまつり

お す す め の 本

『トウモロロー・アンド・トウモロロー』

『アンド・トウモロロー』

ガブリエル ゼヴィン/著

池田 真紀子/訳

早川書房 【 933.7 セ 】

大学でゲーム制作を学ぶセイディは、10代の頃に病院の待合室でマリオゲームをして知り合ったサムと再会。同じく大学生のサムは、ゲームクリエイターとしての彼女の才能を見抜き、ゲーム開発のパートナーとしてゲーム「イチゴ」を作ってヒットする。その後のゲーム制作の過程で様々な困難と喪失体験が描かれ、すれ違ったり口論したりしながらも、心の深いところでお互いを大事に思う関係は、単なるボーイミーツガールではない愛情の物語です。

シェイクスピアから引用されたタイトルには、性別・人種のマイノリティやトラウマ、各々の複雑な恋模様などを小説に盛り込んだ著者の、人生に対する考えが見えてくるようです。(Y)

『絵本作家のアトリエ 1』

福音館書店母の友編集部/著

福音館書店

【 726.6 エ 】

この本の 10 人の絵本作家に共通するのは戦争を体験していること。物語絵本だけでなく科学絵本も手掛けた加古里子(かこさとし)さんは、軍国少年でしたが視力の低下により軍人になれず、友人のほとんどを特攻機で亡くし、そのことに引け目を感じていました。しかし、国のためになる方法が他にもあったのではないかという自責の念と子ども達に社会の仕組みを知ってもらい判断力をつけてほしいという願いが、絵本製作に繋がっていきます。代表作のひとつ『だるまちゃんどてんぐちゃん』も、子どもにはちゃんと選択する力があることを楽しく描いています。子どもにこそ本物を届けたい…10 人の絵本作家に共通する思いです。(K)

『日本の絶滅危惧知識』

吉川 さやか/文

ベストセラーズ

【 382.1 ヨ 】

日本の健康フードといえば納豆。納豆はどの季節でも売り場に並んでいて、いつでも食べられる食品ですが、実は冬の季節だと知っていましたか。江戸時代に町を練り歩く納豆売りが冬の風物詩だったようで、松尾芭蕉の「納豆きる音しばしまて鉢叩」や与謝蕪村の「朝霜や室の揚屋の納豆汁」など名だたる俳人が納豆の句を詠んでいます。

この本では、いずれ忘れ去られそうな日本古来の風習やしきたりなど「縁起」・「行事」・「衣食住」・「生活と文化」に分けて紹介しています。何げなく受け入れてきたことにちゃんと意味があること、まずは知ることから先人の繋いできた日本文化を再認識してみませんか。(N)

思ひかね
妹がり行けば

冬の夜の

川風さむみ

ちどり鳴くなり

紀貫之

『心に遺したい季節の言葉』より

図書館の最新情報はこちらから！



Instagram onoyo_madokapia_library



ホームページ <http://www.madokapialibrary.jp/>



▲図書館 HP



つどい・ふれあい・はばたく

大野城まどかぴあ図書館

公益財団法人大野城まどかぴあ

816-0934 福岡県大野城市曙町 2 丁目 3 番 1 号

TEL 092-586-4010